

マイコンメーター

マイコンメーターとは、ガスメーターにマイコンを組み込み、いつでもガスの使用状態を見守っている、安全装置付のガスメーターです。

マイコンメーターの種類

マイコンメーターにはI型、II型、III型の3種類があります。下の写真の左(色はグレー)がI型、右(色はクリーム)がII型です。III型はII型と機能・外見とも同じで、通信機能が付加されたものです。

マイコンメーターの主な機能

①ガスもれを検査

ガスが30日以上連続して流れていると「ガスもれの疑いあり」と判断してランプの点滅で警報表示を出します。

②異常流出の防止

ガスが大量に流出すると、ガスをストップさせます。

③ガスの異常使用防止

消し忘れなどでガスを長時間使用し続けると、ガスをストップさせます。

④地震対策

大きな地震を感知すると、ガスをストップさせます。
(II・III型の一部は「ガスを使用中ではなく、しかもガス管に異常がない」場合には、ガスをストップさせないものもあります。)

ガスの使い方

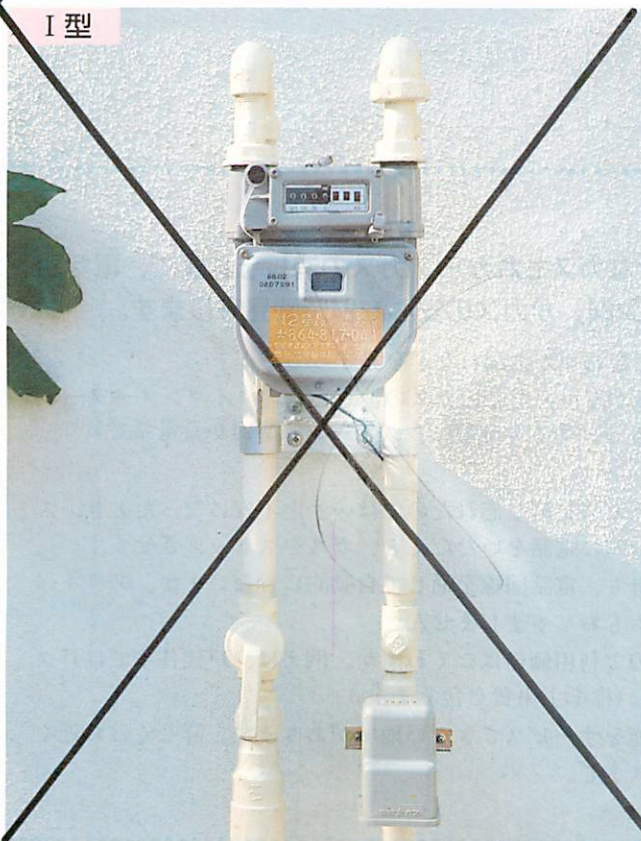
普通に使用していただいでけっこうですが、つぎのようなことにご注意ください。

- 湯沸器などの口火を30日以上つけておくと、ガスもれと同じ警報表示が出ます。ガス機器をお使いにならない場合は、口火を消すようにしてください。なお、連続して口火をつけておく場合は、東京ガスへ連絡をしてください。
- 新たに大型のガス器具をご使用になる場合は、東京ガスまで連絡をしてください。
- ガスメーターに振動やショックを与えると感震器が作動してガスをしゃ断することがあります。

ガスがストップしたときは

I型とII型・III型とでは再びガスが使えるようにする(「復帰」といいます)方法が異なります。復帰方法は簡単ですので、右ページの説明通りに操作してください。なお、この操作を2、3回繰り返しても復帰しないときは、東京ガスまでご連絡ください。

I型



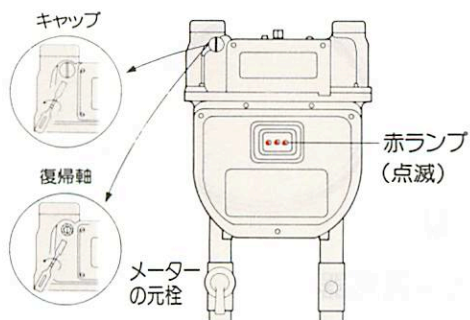
II型



復帰の手順

ガスが止まって赤ランプが点滅していたら、手順に従って、復帰して下さい。

I 型



1 すべてのガス器具を止める。
屋外の器具も忘れずに。
メーターの元栓は閉めない。

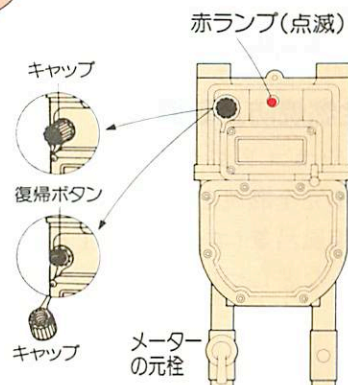
2 復帰軸のキャップを外す。
マイナスのねじ回して、時計と反対方向に。

3 中の復帰軸を、半回転ほど止まるまで回し、すぐ手を離す。
(復帰軸は元に戻り、赤ランプは再び点滅。)
(キャップを元に戻す。)

4 約3分待つ。(この間にマイコンが安全を確認。)
赤ランプの点滅が消えるとガスが使えます。

3分以上点滅が続くときは、ガス器具の止め忘れがないかを再確認し、やり直してください。

II・III型



1 すべてのガス器具を止める。
屋外の器具も忘れずに。
メーターの元栓は閉めない。

2 復帰ボタンのキャップを外す。

3 復帰ボタンをしっかりと押し、すぐ手を離す。
(ボタンは元に戻り、赤ランプは再び点滅。)
(キャップを元に戻す。)

4 約3分待つ。(この間にマイコンが安全を確認。)
赤ランプの点滅が消えるとガスが使えます。

3分以上点滅が続くときは、ガス器具の止め忘れがないかを再確認し、やり直してください。

ガスの

一口メモ

地震の時は器具せん、ガスせんをしまして火を消してください。
メーターの元栓も忘れずに。

地震の警戒宣言が発令されたら東京ガスでは警戒体制をとりながらガスの供給を継続します。

1. お客さまは

なるべくガスを使用しないでください。

2. やむをえずガスを使用するときは

火のそばを離れないでください。

3. ガスを使わないときは

使っていないガスせんは閉まっていることを確認し、避難するときは、必ずガスせんやメーターの元栓を閉めてください。